

写真撮影

【撮影禁止区域等に関する注意喚起】

- カタールでは、ウェストベイの外交団地区や軍事施設、空港、政府機関庁舎、天然ガスプラント、治安関係機関、港湾施設等の重要施設を含む区域においては、当局の許可を得ない写真撮影は原則禁止されており、治安当局は違反者に対して逮捕・勾留を含む厳しい姿勢で臨んでいます。これまでも撮影禁止対象を撮影したとして邦人が身柄を拘束され、大使館が釈放のための対応に当たった事例が複数回生じております。
- カタール国内で写真撮影をされる際には、その場所が撮影禁止区域に指定されていないか、また、周囲に軍事施設等の重要施設が存在していないか等に十分にご注意ください。
 - ※ 撮影禁止区域には「NO PHOTOGRAPHY」等の看板が設置されていることがあります。ただし、アラビア語のみの表示であったり、こうした看板が設置されていない場所でも写真撮影が禁止されている場合がありますので注意が必要です。
- 在留邦人の皆様は、日本からの出張や旅行等での短期滞在の来訪者の方々にも、一言注意して頂くようお願いいたします。
- なお、万一、写真撮影を巡って警察官に呼び止められるなど何らかのトラブルが発生した場合には、すぐに大使館（代表電話：4 4 8 4－0 8 8 8（24時間））にご連絡下さい。

【 女性の撮影 】

カタールでは写真を撮影されることについて保守的な人が多く、特にカタール人女性や他のアラブ人女性を無断で撮影することは、大きなトラブルの原因となります。

トーブ（男性の着用する白い民族衣装）やアバヤ（女性の着用する黒い、全身を覆う衣装）を着たカタール人は、日本人からすれば珍しく、つい写真撮影してしまいがちですが、特に女性の場合は必ず許可を求めるようにしてください。

仮に風景等を撮影する場合でも、そこに女性が居る時には、その女性を撮影しているかのような誤解を与えるような行為は控える注意が必要です。